

# 給食室衛生検査

北区学校薬剤師会

## 【事前準備】

1. 配布された大腸菌培地と緩衝液は帰宅後冷蔵庫で保管する。
2. 検査日程は養護教諭を介して栄養士と相談して決める。
3. 検査当日朝手を良く洗って培地表面のビニールにマジック等で学校名・ナンバー・検査物名等を記入する。また手を良く洗ってビニールを開けて培地に緩衝液を約1mlずつ入れる。
4. 培地がゲル状に固まるまで30分静置。持参する時迄冷蔵庫保存。
5. 培地は感度が非常に良いので扱いには注意して下さい。
6. サーモラベル3枚の表面端にマジックでそれぞれに上・中・下と書く。
7. 白衣・給食室検査票・ヨウ素試液パプリカ試薬各1本・サーモラベル3枚・培地9枚1組・執務記録を持って出勤する。ヘアキャップと施設設備等の点検表は栄養士が持っています。

## 【給食室内】

8. 入室前に指輪や時計などアクセサリ類ははずし、白衣・ヘアキャップを身に着ける。手を丁寧に洗う。液体石鹸・ペーパータオル・消毒用アルコールは備え付けの物を使用する。
9. 培地の表面のビニールを開け、検査対象に接触させる。包丁やしゃもじなら柄。持ち手や取っ手。水道の栓ならレバーを培地で押す。まな板は表面四隅。
10. 最後に調理員二名の手のひらを満遍なく触る。指の間も。手が荒れてない方を探して下さい。
11. 水道水の遊離残留塩素濃度は測定器を借りて自分で測定してもチーフに聞いてもどちらでも可冷蔵庫内と冷凍庫内温度は表面にデジタル表示されている場合が多いですが、チーフに聞いて
12. も可。食器熱風乾燥保管庫の設定温度は100℃に設定されている学校が多いですが、聞いて下さい。給食室を出る時にサーモラベルと説明書をチーフにあずけ、保管庫内の食器に直接
13. 貼ってもらって下さい。翌朝85℃の色が変わっていればOKですので栄養士さんに預けてもらいます。もし色が変わらなければ設定温度を確認して、食器等を配置替えしたり減らして翌日
14. 同様に同じサーモラベルを貼って色の変化を見ます。繰り返しても変わらないようなら、業者に保管庫の点検をしてもらうよう助言します。
15. 食器の残留物理化学検査は試薬を直接かけ回して、そうっと水にくぐらす。色の残り方を見る当日実施した事と分かった内容を執務記録に記載して学校に提出して、北区薬業会館3階の
16. ふ卵器内に培地9枚重ねて入れたビニール袋を入れて帰宅します。24時間後取りに行きます。
17. 万が一、大腸菌のコロニーが紫色していたら、冷蔵庫内から大腸菌培地必要枚数と緩衝液1本を持ち帰り、学校に見せてから相談して日程調整して再検査をする。
18. 栄養士が持っている施設・設備の点検表は給食室内に入った時気になっている事や困っている事を聞きながら目視して、当日または培養後の培地を見せに行った時に完成させ、記名押印
19. する。持参した給食室点検票はサーモラベルを貼り、大腸菌の+-を記載し完成させる。
20. 原本は栄養士に提出。コピーを2組もらい、1組は結果を記入した執務記録と一緒に養護教諭に提出。1組は自分で保管。次年の参考になります。
21. 使用済み培地は各自持ち帰り処分して下さい。